

地域で活かし、地域で広げる
ACTION! セミナー



「働き盛り世代の健康づくりと健康経営」について

令和5年9月8日（金）

広島県健康福祉局健康づくり推進課





元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

働き盛り世代の健康づくり の推進について

- ～ 安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン
- ～ 現状と課題
- ～ 働き盛り世代の健康づくり推進事業
(広島県が取り組んでいること)



～安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン～

指標一覧 17の施策領域に51指標を設定しました。

指標	現状値	目標値 (R12)	指標	現状値	目標値 (R12)
子育て			農林水産業		
安心して妊娠・出産、子育てができると思える割合	R1 80.0%	91%	かき輸出量	H30 1,500t	2,500t
教育			海産物産生額800万円以上の担い手数	H30 50経営体	84経営体
「遊び 学び 育つひろしまっ子」推進プランに 掲げる5つの力が育まれている児童の割合	R1 73.2%	80%	海産物産生額800万円以上の担い手産額	H30 7億円	19億円
「主体的な学び」が定着している児童生徒の 割合	R1 小:71.1% 中:64.6% 高:64.3%	小:80% 中:80% 高:80%	観光		
全国学力・学習状況調査における正答率 40%未満の児童生徒の割合	R1 小:13.9% 中:18.8%	10%以下	観光消費額	R1 4,410億円	8,000億円
「児童生徒のデジタル活用を指導する能力」 の全国順位	H30 小:18位 (74.6%) 中:23位 (65.1%) 高:40位 (65.2%)	いずれも 全国30位 以内	観光客の満足度	R1 73.4%	90%
大学等進学時における転出超過数	R1 1,187人	0人	住民の満足度	—	90%
健康			スポーツ・文化		
健康寿命の延伸	H28 男性 71.97年 女性 73.62年 全国平均 男性 72.14年 女性 74.79年	全国平均を 上回り、 平均寿命の 伸び以上に 延伸	スポーツを楽しめることを誇りに思う県民 の割合	R1 52.4% (全国1位)	65%
医療・介護			週に1日以上スポーツ実施率	R1 県:41.8% (国:53.6%)	65%
広域医療圏の圏域病院が実数する先進医療施設件数	R1 13件	26件	過去1年間に文化芸術活動(鑑賞・体験等)に 参加した県民の割合	R2 鑑賞活動: 48.3% 体験活動: 19.5%	鑑賞活動: 80% 体験活動: 50%
県内医療に携わる医師数	H30 7,286人	7,378人	平和		
医療や介護が必要になっても、安心して暮らし 続けられると思える割合	R2 55.6%	82%	核兵器廃絶に向けた国際的な意思形成	—	合意形成 方策の 検討
地域共生社会			持続可能なまちづくり		
困りごとや悩みに対して地域の方同士 での助け合いができている人の割合	R1 48.3%	90%	居住圏域内人口密度	R2 60.3人/ha	60人/ha以上
防災・減災			日慣生活サービスの歩歩満足率	R2 52.7%	55%以上
避難の準備行動ができている人の割合	R1 13.6%	100%	公共交通の機関分担率	R2 18.7%	20%以上
河川氾濫により床上浸水が想定される家屋数	R2 約18,000戸	約16,000戸	防災上危険が懸念される地域の居住人口	R2 120千人	100千人以下
土砂災害から保全される家屋数 <参考> 保全対象戸数(延べ数): 約404,000戸(R2)	R2 約116,000戸	約135,000戸	自然と都市の魅力を楽しみ、真の思い 暮らしができて感じる県民の割合	R1 62.6%	70%以上
緊急輸送道路の災害時通行止箇所	H27 ~R1 190箇所	120箇所 (R8~R12)	中山間地域		
治安・暮らしの安全			人材プラットフォーム 「ひろしま山・チーム500」の登録人数	R1 345人	1,000人
刑法犯認知件数	R1 14,160件	10,000件以下	中小企業と外部人材の マッチングサポート機関を通じて 外部人材を活用する中小企業数	—	320社
身体治安(治安良好と感じる県民の割合)	H29 85.3%	90%以上(増)	デジタル技術を活用した 課題解決モデルの創出	—	10件以上 (普及段階 20件以上)
働き方改革・多様な主体の活躍			地域で支え合う新たな交通サービスを 交通計画に位置付け、取組を進める市町数	—	19市町
従業員が働きがいを感じて主体的に働くことができる 職場づくりに取り組む企業(従業員3人以上)の割合	—	80%以上	交流・連携基盤		
産業イノベーション			広島空港利用者数	R1 297万人	360万人
県の取組による付加価値額出願	—	5,000億円	県内港におけるコンテナ取扱量	R1 36万TEU	48万TEU
農林水産業			年間決着率(決着率)	R1 4,500万時間	3,000万時間
農業生産額	H30 712億円	746億円	環境		
農業生産額1千万円以上の経営体数	H30 605経営体	705経営体	温室効果ガス排出量(削減率)	H25 5,903万t	4,600万t (▲22%)
農業生産額1千万円以上の経営体生産額	H30 234億円	335億円	3品目(ペットボトル、プラスチックボトル、 レジ袋)の海洋漂着物量	R1 8.4t	6.3t
比率をとり戻す取組の増加数	H30 2経営体	30店舗	産業廃棄物の再生利用率	H30 74.9%	76.1%
広域和牛を飼育する企業経営体数	H30 1,800頭	4,850頭			
広域和牛を飼育する企業経営体の飼養頭数	H30 0ha	4万ha			

ひろしまビジョン 
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/index.html>

令和2(2020)年10月算定
 広島県総務局経営企画チーム
 〒730-8511 広島市中区基町10-52
 TEL 082-513-2344 FAX 082-212-4025

概要版



安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン

県民一人一人が「安心」の土台と「誇り」により、夢や希望に「挑戦」しています
 ~仕事も暮らしも。里もまちも。それぞれの欲張りなライフスタイルの実現~



2021 ▶ 2030

 広島県

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshimavision/index.html>

安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン

安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン

★ 10年後の目指す姿

- 人生100年時代を迎える中、県民一人一人が、それぞれのライフステージに応じて、心身ともに健康で活躍している。
- そのため、若い時期から生涯を通じた健康の大切さとリスクを意識し、デジタル技術やデータも活用しながら、運動や食事等の生活習慣の改善など、健康を維持する行動が身に付いている。



安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン

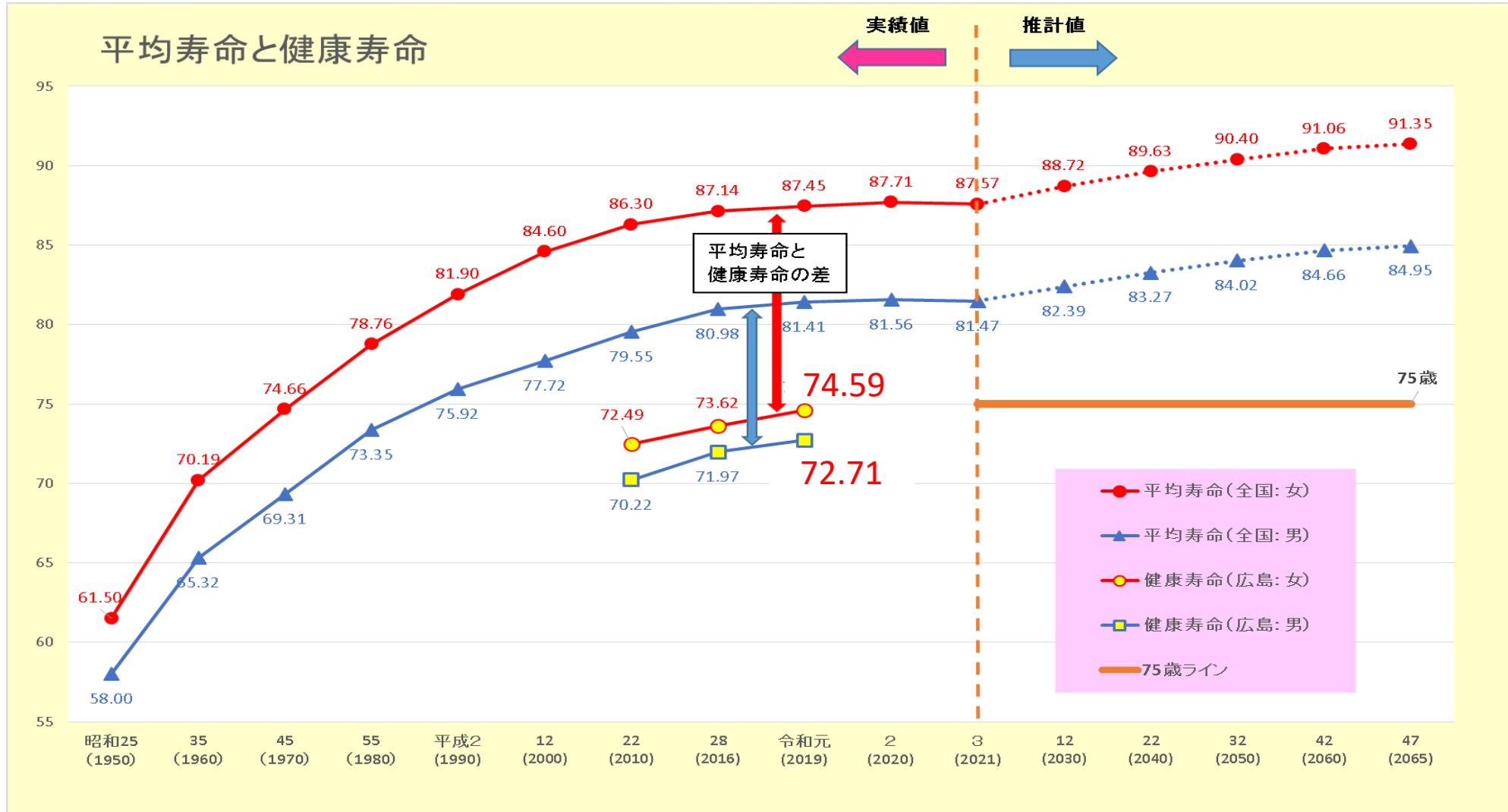
◆ 10年後の目指す姿

安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦
ひろしまビジョン

指標	現状値 (R1)	目標値 (R12)
健康寿命の延伸	男性 72.71年 (19位) 女性 74.59年 (43位) (全国平均) 男性 72.68年 女性 75.38年	全国平均を上回り、 <u>平均寿命の延び以上</u> <u>に延伸</u>

【参考 広島県の平均寿命 (R1)】
男性 81.41年 / 女性 87.45年

安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン



安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦 ひろしまビジョン アクションプラン



安心 ▶ 誇り ▶ 挑戦

ひろしまビジョン
アクションプラン

[広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略]

◇ 5年間の取組（K P I）

指標	現状値	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
運動習慣のある人の割合の増加	【20～64歳】 男性 21.0% 女性 12.9% (H29)	—	—	【20～64歳】 男性 34.0% 女性 33.0%	—	【20～64歳】 男性 34%以上 女性 33%以上
	【40～64歳】 男性 21.8% 女性 15.8% (H30)	【40～64歳】 男性 26.0% 女性 22.0%	【40～64歳】 男性 31.0% 女性 28.5%	【40～64歳】 男性 36.0% 女性 35.0%	【40～64歳】 男性 36%以上 女性 35%以上	【40～64歳】 男性 36%以上 女性 35%以上
「健康経営」に取り組む中小企業数	4,015社 (R4)	2,800社	3,500社	4,200社	4,900社	5,600社

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/468948.pdf>

現状と課題

- 運動に関して、10代、20代とは異なり、30代、40代で継続して運動している人の割合が20%前後まで下がるなど、他の年代と比べても低く、一度運動習慣がなくなった場合には、適切な運動量に改善することが困難であったり、時間がかかったりする傾向にあると言われている。
- 本県健康寿命は他の都道府県と比較して中～低位
 - ・健康寿命（H28）：男性27位、女性46位
 - （R01）：男性19位、女性43位
- 健康寿命と要支援・要介護1の割合に相関性があることから、R元年度から高齢者の「通いの場」の設置の加速など介護予防の推進に注力してきた。



現状と課題

(続き)

- 人生100年時代に向けた、若い時期からの健康づくりの必要性をビジョンに位置付けた一方で、現状は、若い時期を対象とした施策は食育や運動習慣の推進に向けた普及・啓発（機運醸成）に留まっており、実効性のある具体的な介入策の実施に至っていない。
- 「健康経営」に取り組む中小企業は6.9%と少なく、県内従業者の約8割を占める中小企業の取組が進んでいない。
- 経営者に、「健康経営」に取り組むことを決断できる材料やマンパワーがからない取組などを伝えることができていない。
- 若い時期から適切な生活習慣を身に付けるための健診情報等のデータを活用した効果的な介入方法が確立できていない。



I

健康データなどを活用した健康づくりの推進

👉 **ターゲット：働き盛り世代（～64歳頃まで）**

👉 事業内容

健康診断のデータからA I が将来の健康リスクを予測し、生活習慣の改善や行動変容 を促すための実証試験を開始

II

「健康経営」実践企業の拡大推進

👉 **ターゲット：県内中小企業の経営者等**

👉 事業内容

- ・ 健康経営セミナーの開催
- ・ 健康経営優良企業制度の創設



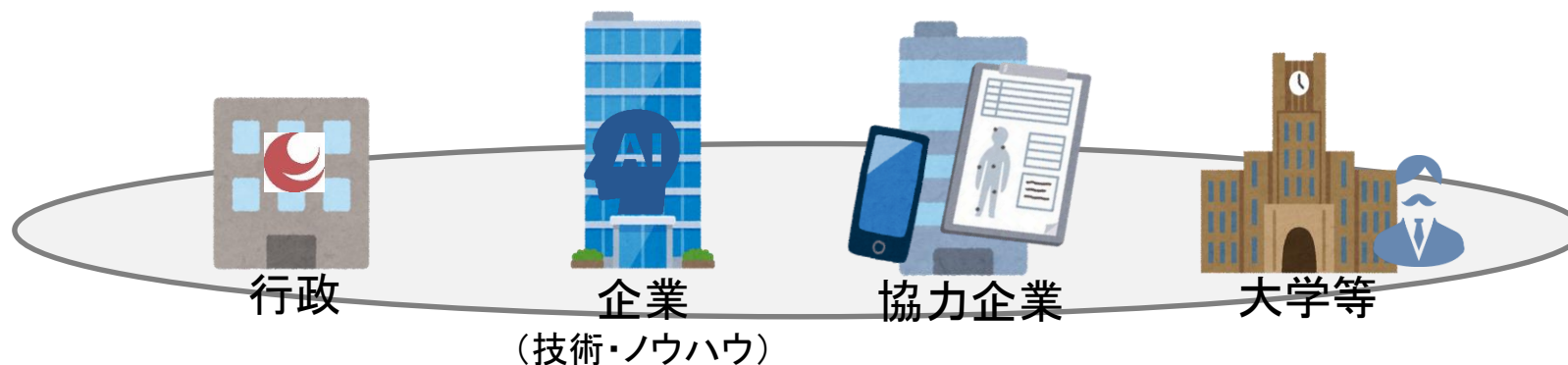
働き盛り世代の健康づくり推進事業

I

健康データなどを活用した健康づくりの推進

健康経営の推進に向けた実証試験【R3～】

健診データを活用した疾病リスク予測及び生活習慣改善に係る介入検証業務
～データドリブな生活習慣改善策のアジャイル開発～



健康経営の推進に向けた実証試験

事業の目的

- 広島県では、人生100年時代を迎える中、**県民の皆様一人ひとりが、若い時期から生涯を通じた健康の大切さとリスクを意識し、デジタル技術やデータも活用しながら、運動や食事等の習慣の改善など健康を維持する行動が身に付くよう、実効性のある健康づくりの仕組みの確立と社会実装を目指しています。**
- この実証試験では、「健康経営」に取り組む県内企業と連携し、**健康診断のデータからA Iにより将来の疾病リスク予測**をするとともに、スマートフォンのアプリ等を活用して生活習慣改善提案を実施し、**従業員の健康づくりに向けた行動変容を促す実効性のある介入方法を開発するための実証試験を行う**ものです。

取組の仮説

ボトルネック

- ✓ 若い世代を中心とした健康上の課題が表面化していない層は、生活習慣の改善に取り組むほうが良いことはわかっているが、**先延ばしにしてしまう「現在バイアス」**が強く働いているのではないかと懸念されている。

取組の仮説

- ✓ こうした層に自分ごととして捉えてもらうための手法として、**自身の健康診断の結果を基に予測された将来の生活習慣病の発症リスクを「見える化」**することが有効ではないかと仮定されている。
- ✓ **継続的・反復的な外部からの介入**があれば、行動を継続することができるのではないかと仮定されている。

取組の内容

- ✓ 民間企業が保有する**A Iを用いた将来の疾病リスク予測レポートの提示**
- ✓ **スマートフォンのアプリや専門家による継続的・反復的な介入の実施**（具体的な介入方法は、行動経済学の視点から設計）

健康経営の推進に向けた実証試験

実証試験の流れ

健診データの提出・A I による疾病リスク分析

- 参加される従業員様に同意を頂いた上で、直近の健康診断データをご提供いただきます。
- 健康診断データに基づき、A I が将来生活習慣病等にかかるリスクを分析・予測し、結果レポートを配布します。



生活習慣改善サポートの 実施

- 予測結果レポートに基づき、専用アプリや県が派遣する薬剤師により、生活習慣改善に向けたサポートを行います。
- 各参加者は、複数のグループに分かれて、異なる方法によりサポートを受けます。



個人による健康づくりの実 践

- 生活習慣改善に向けたサポートを活用しながら、各参加者で生活習慣の改善に取り組んでいただきます。
- 各参加者は、定期的なアンケートやアプリへの入力などにより、取組状況を記録していただきます。



効果検証

- 翌度の健康診断結果により、効果検証を行います。
- また、定期的なアンケートなどにより、短期的な効果検証も行います。



健康経営の推進に向けた実証試験

参加者のグループ分け

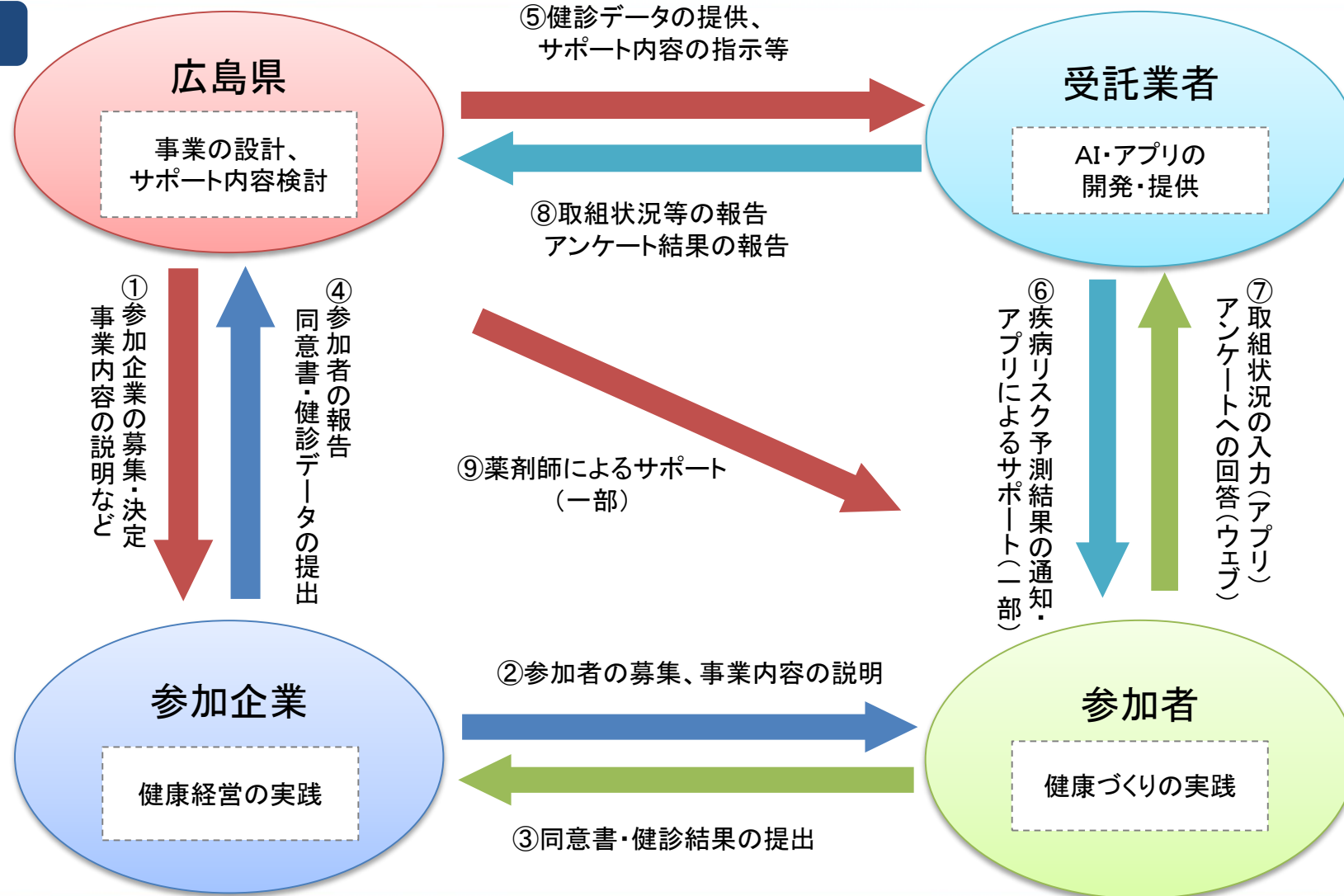
- この実証試験では、施策の効果検証のため、参加者を複数のグループに分けて、異なる方法でサポートを行います。
- グループ分けは、原則としてランダムとなりますので、同じ企業の中でも、参加される従業員によって、異なるサポートを受けることとなります。
- グループ分けの結果、参加者によっては、スマートフォンのアプリの提供や、薬剤師による支援がないグループとなる場合があります。

(グループ分けのイメージ)

	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4
サポートの方法		方法A	方法B	方法C

健康経営の推進に向けた実証試験

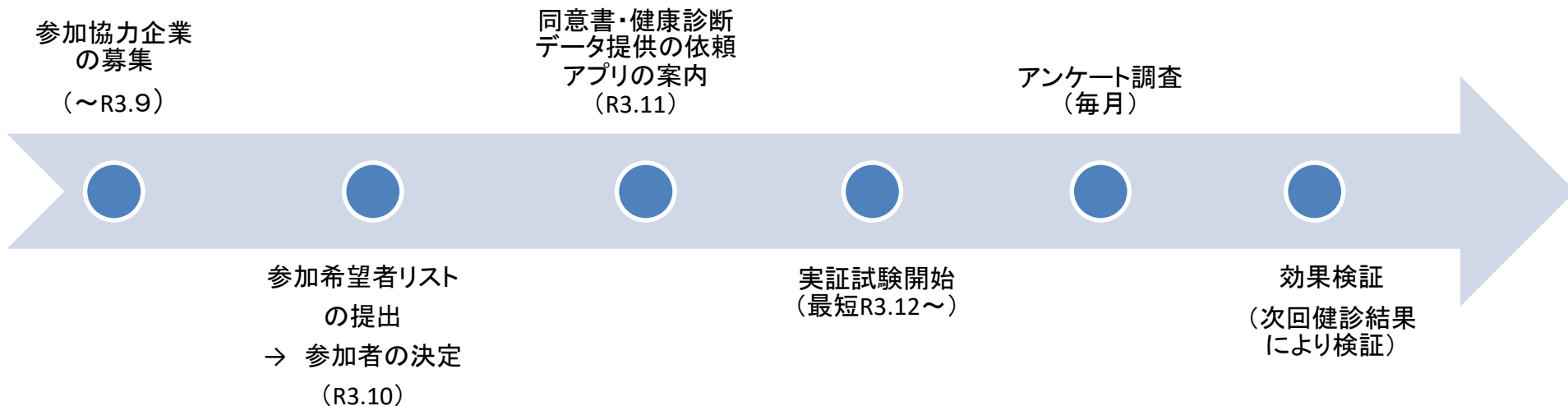
事業スキーム（イメージ）



健康経営の推進に向けた実証試験

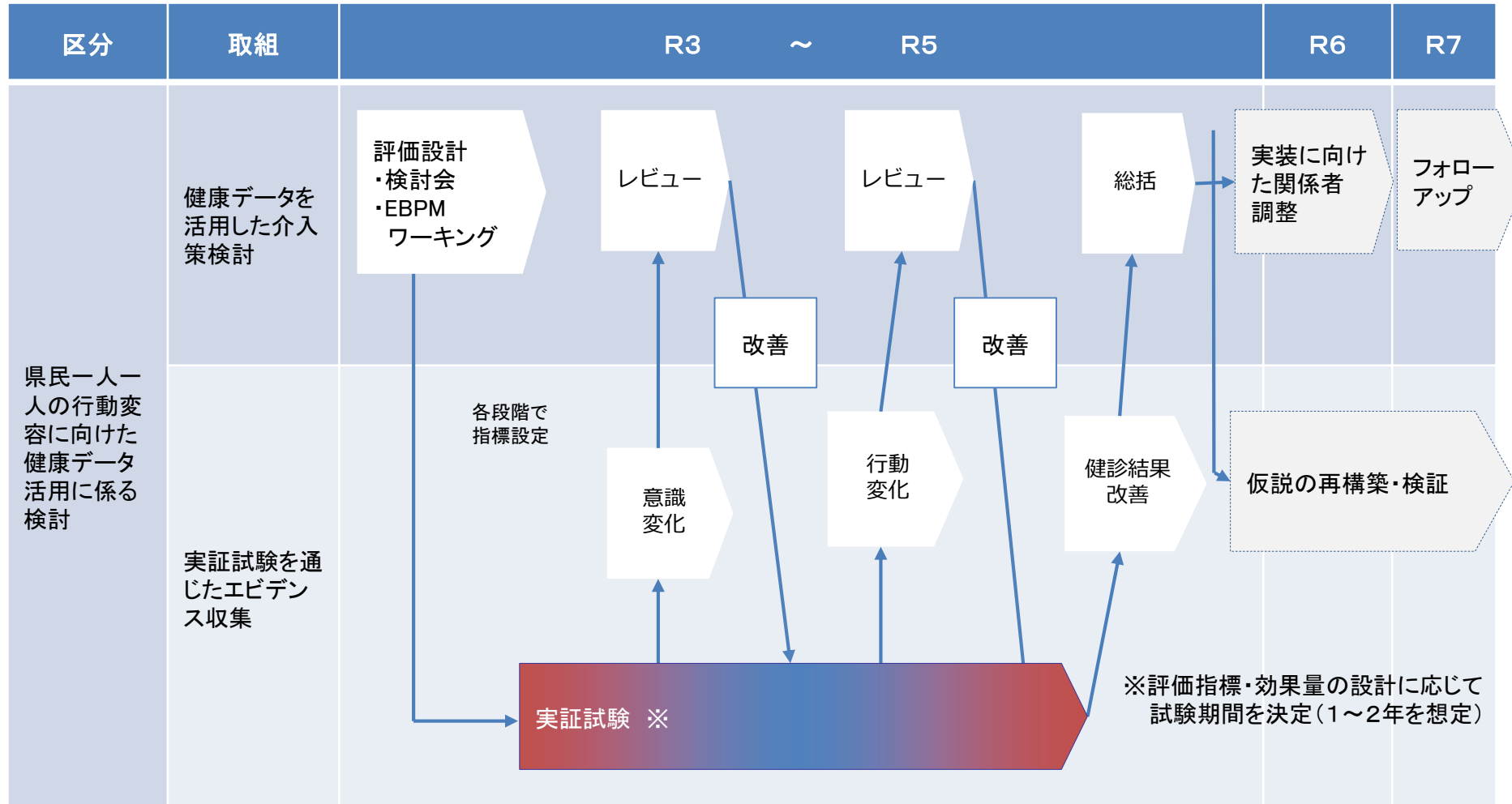
スケジュール【第1期】

- この実証試験は、令和3年度に開始し、令和5年度末までの3年間にわたり実施する予定です。
※県の歳入歳出予算の減額又は削除が行われた場合は、期間を短縮することがあります。
- 参加企業の皆様には、実証試験開始から1年間を1クールとし、最長で令和5年度末まで御協力いただくことを想定しています。
※参加企業やサポートの方法は、年度途中に見直しを行うことがあります。



健康経営の推進に向けた実証試験

ロードマップ



○ 健康経営導入・継続セミナーの開催【R3～】

- 広島県健康づくり推進課では、健康経営を始めようとする企業向けの基礎的内容の
 - ①「健康経営導入セミナー」と、健康宣言を実施した企業に、既に実施済み企業の具体的手法を披露する発展的な②「健康経営継続セミナー」の2種類を行っています。
 [セミナー名称は毎年度変更]
- セミナーは協会けんぽ広島支部の協力を得て共催で実施しています。

	健康経営導入セミナー	健康経営継続セミナー
対象者	これから健康経営を始める経営者や人事労務担当者	既に健康経営に取り組んでいる企業経営者や人事担当者
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営の概要、目的、必要性 ・導入するために必要な手順、組織体制 ・ひろしま企業健康宣言のエントリーについて ・具体的な取組事例の紹介、P D C A等 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略としての健康経営の必要性 ・健康課題の抽出方法と解決策 ・評価指標の設定方法 等 ・健康経営実施済み企業の事例発表（3社）

【①健康経営導入セミナー】 令和5年度 5回開催予定

【②健康経営継続セミナー】 令和5年度 2回開催予定

健康経営スタートセミナー



中小企業の経営者
人事労務担当者のみならず
**こんなお悩み
ありませんか？**

参加費 無料
WEB開催 (Zoom)

十分な人材が確保できない…
 離職・休職が多い…
 従業員の生産性が上がらない…

その悩み、「健康経営」で解決できるかもしれません！

本セミナーでは、健康経営の考え方と始め方をわかりやすくレクチャーいただくほか、実行に移すヒントが得られるワークショップを実施します。健康経営をやってみたくて踏み出せていない方、そもそも健康経営ってなに？という方、ぜひお気軽にご参加ください！

日時

※いずれも内容は同じです

① **6/14 (水)** 14:00 ~15:15
申込締切6/7(水)

② **7/21 (金)** 10:00 ~11:15
申込締切7/14(金)

③ **8/28 (月)** 14:00 ~15:15
申込締切8/21(月)

プログラム

- 講義「健康経営の導入方法」
 - ・健康経営の概要、目的
 - ・健康経営の始め方 4つのステップ
 - ・事例紹介
 - ・自社のストーリーを組み立ててみよう (ワークショップ)
- 質疑応答
- 協会けんぽ広島支部からのご案内

お申込みはこちら



講師 (一社)ヘルスケアマネジメント協会 代表理事
健康経営エキスパートアドバイザー
振本 恵子 氏

健康経営社会の実現を目指し、2016年(一社)ヘルスケアマネジメント協会を設立。代表理事として、中小企業を中心に従業員の健康で経営を支える健康管理体制づくりを支援し、経営課題を解決。看護師・看護教員・健康経営エキスパートアドバイザー



過去のセミナー参加者の声

- ・健康経営とは何か、どのような手順で取り組むのが、具体的な説明があったので初心者でも分かりやすかったです。
- ・自社の悩みについて貴重なアドバイスもいただき、是非参考にしようと思いました。
- ・今後もこのようなセミナーがあれば参加したいです。

お問い合わせ 主催：広島県 共催：全国健康保険協会広島支部
 広島県健康づくり推進課 健康経営推進グループ 〒730-8511 広島県広島市中区基町10-52
 ☎: 082-513-3214 FAX: 082-223-3573 Mail: fukensui@pref.hiroshima.lg.jp



中小企業の経営者・人事労務担当者 必見！

優良事例に学ぶ！健康経営セミナー

参加費
無料

こんなお悩みありませんか？

健康経営を始めたのはいいものの……
 「なかなか成果が上がってこない」
 「本当にこのやり方でいいのだろうか」



そんな思いを抱えた皆さんこそ
先進企業による取組を知り、
より強い**健康経営**へ

日時 令和5年 9月26日(火)
14:00~16:00

会場 広島 YMCA 国際文化センター
多目的ホール

定員 先着 50名様(会場参加)
先着 450名様(Zoom参加)

～プログラム～

基調講演 14:00~14:45	広島県からのお知らせ 14:45~14:50
経営戦略として考える健康経営のすすめ	協会けんぽ広島支部からのご案内 15:45~15:55
事例紹介・トークセッション 14:55~15:45	名刺交換会(会場参加者のみ) 16:00~16:30

～健康経営実践企業3社の実例～

『残業時間削減』
『従業員意見からの福利厚生制度充実』
株式会社 メディアテック心
経営管理室 副室長 三重 康祐 氏

『健康増進の評価制度』
『ウェルネス通信の提供』
ヒロボー株式会社
健康経営最高責任者 本谷 一真 氏

『当協会における健康経営の推進
～戦略MAPのつくり方～』
公益財団法人 中国労働衛生協会
総務部 総務課 課長補佐 井上 知代 氏

※内容は多少変更になる可能性がございます

講師・モデレーター

一般社団法人ヘルスケアマネジメント協会
代表理事 **振本 恵子 氏**



健康経営社会の実現を目指し、2016年(一社)ヘルスケアマネジメント協会を設立。代表理事として、中小企業を中心に従業員の健康で経営を支える健康管理体制づくりを支援し、経営課題を解決。看護師・看護教員・健康経営エキスパートアドバイザー

お問い合わせ 主催：広島県 共催：全国健康保険協会広島支部
 広島県健康づくり推進課 健康経営推進グループ 〒730-8511 広島県広島市中区基町 10-52
 ☎: 082-513-3214 FAX: 082-223-3573 Mail: fukensui@pref.hiroshima.lg.jp

Ⅱ 「健康経営」実践企業の拡大推進

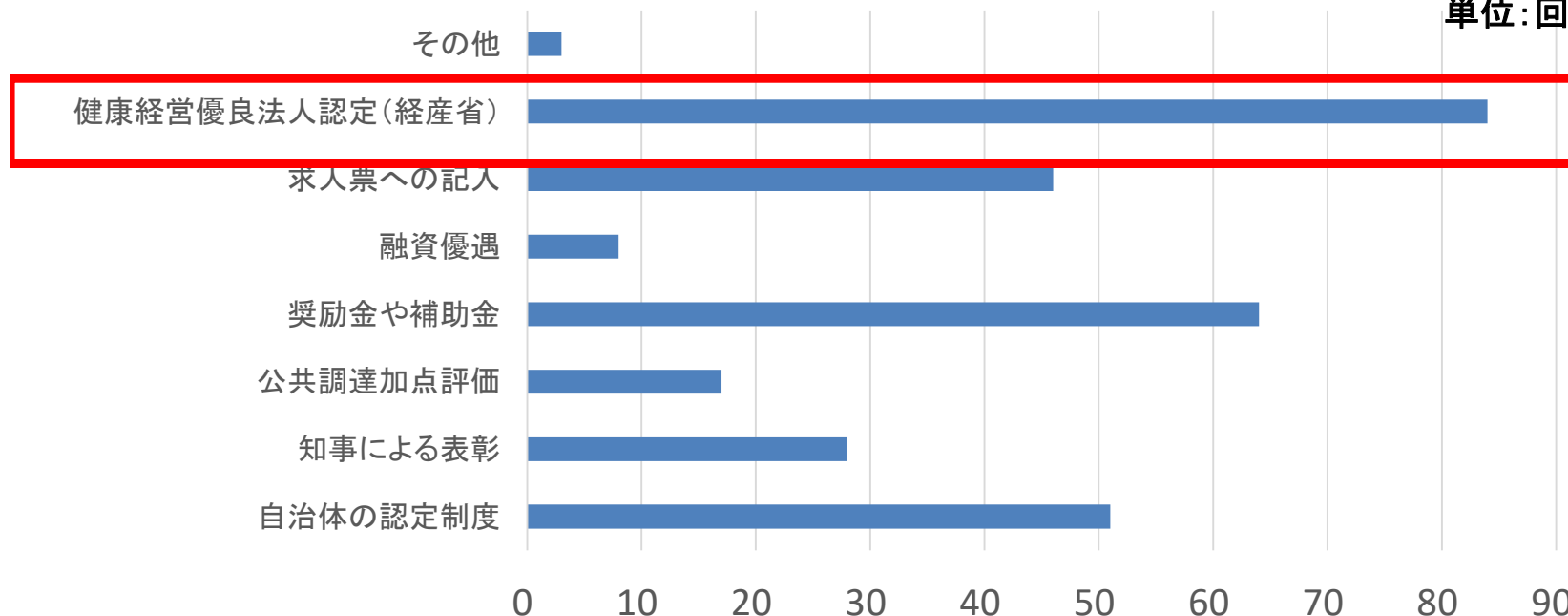
セミナー参加企業のアンケート回答

- 基礎的内容の①「健康経営導入セミナー」と発展的な②「健康経営継続セミナー」の2種類の参加企業従業員に対し実施したアンケート回答は次のとおりです。
- 企業が人材獲得のため、健康経営優良法人認定に非常に関心が高いことがうかがえます。

【令和4年度：継続セミナーアンケート回答より抜粋】

質問：健康経営に取り組むインセンティブとして魅力的だと思えるものはどれですか？（複数回答可、N=1517）

単位：回答数



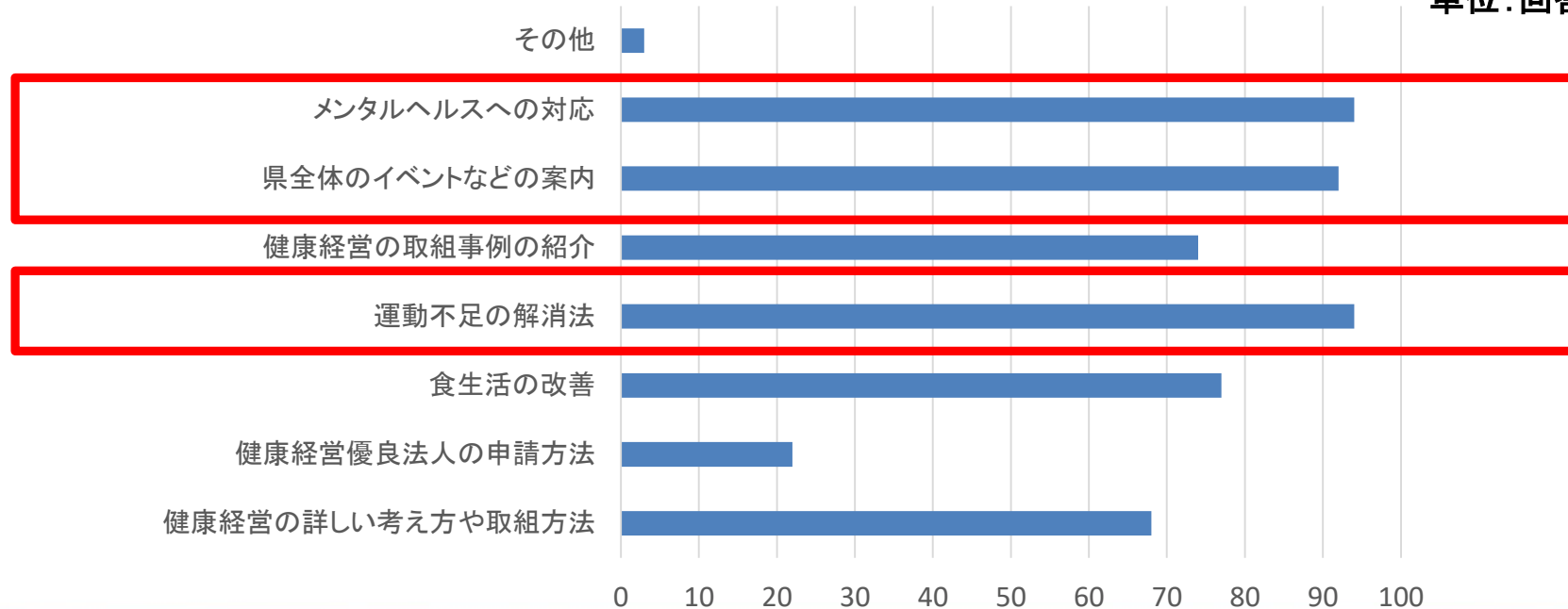
セミナー参加企業のアンケート回答

- セミナー参加者のアンケートから、健康経営に関するセミナーで希望するテーマとしては「メンタルヘルスへの対応」、「県全体のイベントなどの案内」、「運動」、が高いようです。

【令和4年度：導入・継続セミナーアンケート回答より抜粋】

質問：今後健康経営に関するセミナーで取り上げてほしいテーマはありますか？（複数回答可、N=177）

単位：回答数



○ 健康経営優良企業の表彰【R2～】

【内容】

協会けんぽ広島支部が認定する、「ひろしま企業健康宣言」認定企業の中から、健康経営に積極的に取り組み、他の模範となるべき優れた成果をあげた企業を県知事が表彰



「R5.1.27 令和4年度表彰の様子」

令和4年度健康経営優良企業表彰式（第3回）を行いました。



【写真：前列左から】株式会社マエダハウジング 前田 政登 様、湯崎知事、伊豆義株式会社 伊豆田 康博 様、公益財団法人中国労働衛生協会 宮田 明 様

【後列左から】全国健康保険協会広島支部 神田支部長、広島県医師会 魚谷常任理事、広島県健康福祉局 木下 局長

まとめ

「健康経営」の推進 = 働き盛り世代へのアプローチ

課題

- 若い時期から適切な生活習慣を身に付けるための効果的な介入方法が確立できていない。
- 「健康経営」に取り組む中小企業は少ない。また、経営者に「健康経営」のメリットなどを伝えきれていない。
- 若い時期を対象とした実効性のある具体的な介入策がない。

取組

I. 健康データを活用した健康づくりの推進

II. 「健康経営」実践企業の拡大推進

目標

- ★ 運動習慣のある人の割合の増加
- ★ 「健康経営」に取り組む中小企業数の増加

健康寿命の延伸

地域で活かし、地域で広げる
ACTION!セミナー



元気、
美味しい、
暮らしやすい
ENERGY OF PEACE
ひろしま

**「働き盛り世代の健康づくりと健康経営」
について**

ご清聴

ありがとうございました

令和5年9月8日（金）

広島県健康福祉局健康づくり推進課

